

# 子ども医療費 完全無償化の考えは

石崎 誠子議員



早急に取り組みを進めていきたい

市長



▲社会福祉協議会「買い物支援バス」

**問** 11月22日に新生愛西クラブ、あいさいクラブ、公明党あいさいの3党派から、子ども医療費の完全無償化を求め要望書を市長に手渡した。早急に必要予算を確保して、令和4年4月から高校生世代まで子ども医療費完全無償化に向けて進めてほしいが、市長の考えは。

**答** 愛西市が子育て世代に選ばれるまちづくり子ども医療費も選択肢の一つであると認識している。

4年4月から実施できるよう早急に条例改正、補正予算等の取り組みを進めていきたい。

## 高齢者を 取り残さない 買い物支援を

**問** 永和台団地の買い物困難解消に向けて、大井町にある特別養護老人ホーム「愛厚ホーム佐屋苑」の協力により、施設が所有する送迎車を、使用

していない時間帯に買い物バスとして活用し、4年1月からピアゴ佐屋店まで試験的に運行し、4月以降に社会福祉協議会の買い物支援バスと併用できる「地域の買い物バス」として定着させることを目指している。

地域の課題解決に向けた取り組みを持続させるために、行政としてのどのような支援ができるのか。また、介護施設等と協働した買い物支援について市の見解は。

ど様な要因がある。そのため高齢福祉課だけでなく、関係する部署が連携して横断的に取り組みを進めてほしいと思うが、移動困難対策に関する市長の考えは。

**答** 各移動手段に係るサービスを改善し、利便性の向上や、市民の協力、地域の社会福祉資源の発掘・活用なども含め、よりよい選択肢を示せるよう進めていきたい。

**答** 買い物支援の一助となる素晴らしい取り組みだ。課題も出てくると思うので、市としてできる支援について一緒に検討していきたい。今後、市内の事業所への情報提供や協力の支援等、紹介していきたい。

**問** 買い物弱者については、体力の低下、つながりの希薄化、身近な商店の撤退、公共交通の縮小な